

「同対審」答申50年

半世紀を経て生き続けるその精神と課題

早急な解決こそ
国の責務であり
同時に国民的課題

問題の解決は
焦眉の急を要する。
いたずらに日を
重ねることは許されない

あるべからざる
差別の長き歴史の終始符が
一日もすみやかに
実現されるよう

「同和対策審議会答申」とは

日本政府が同和問題の解決を国策として取り組むことを初めて確認した歴史的な文書。1965年8月11日に出され、部落差別の解消が「国民的課題」であり、「国の責務」であると明記した。

● 記念集会

2015年 **8月11日** (火)

開場 13:30
開演 14:00

中之島中央公会堂
大阪市北区中之島1-1-27

【記念講演】



炭谷 茂

1946年富山県高岡市生まれ。1969年厚生省に入省。1993年地域改善対策室長。2003年環境事務次官などを歴任。現在は恩賜財団済生会理事長。



大賀 正行

1937年大阪市生まれ。部落解放同盟大阪府連書記長、中央執行委員などを経て、部落解放・人権研究所名誉理事。

【特別アピール】



守安 敏司

(水平社博物館)

プログラム

- 主催者 / 来賓あいさつ
- 集会基調
- 記念講演
- 特別アピール

「水平社宣言」の世界記憶遺産登録に向けて

【主催】「同対審」答申50周年記念集会実行委員会

連絡先：事務局 06-6581-8535

● 記念パネル展

7月25日(土)～10月3日(土)
大阪人権博物館(リバティおおさか)
大阪市浪浪速区浪速西3-6-36

● 連続学習会

第1回	「同対審」答申ってなに？ 入門編 日時：5月23日(土) 午後1時～3時 場所：HRCビル5階ホール 講師：友永健三
第2回	「同対審」答申—その光と影 シンポジウム 日時：7月25日(土) 午後1時半～3時半 場所：リバティおおさか パネリスト：山中多美男・向井正・新居晴幸・窪田享信
第3回	実際に行ってみよう!! バスで回るムラ巡り 現地視察 日時：9月5日(土) 午前8時半～午後5時半 視察先：道祖本、荒本、櫻井地区 定員50人(事前申込) 参加費1000円
第4回	わいわい言ってみ! 部落のこと ワークショップ 日時：10月24日(土) 午後1時半～3時半 場所：堺人権ふれあいセンター 定員90人(事前申込) ファシリテーター：武田緑
第5回	どうする? 水平社100年 ～これから何をなすべきか～ 日時：12月2日(水) 午後7時～9時 会場：HRCビル5階ホール 講師：赤井隆史